

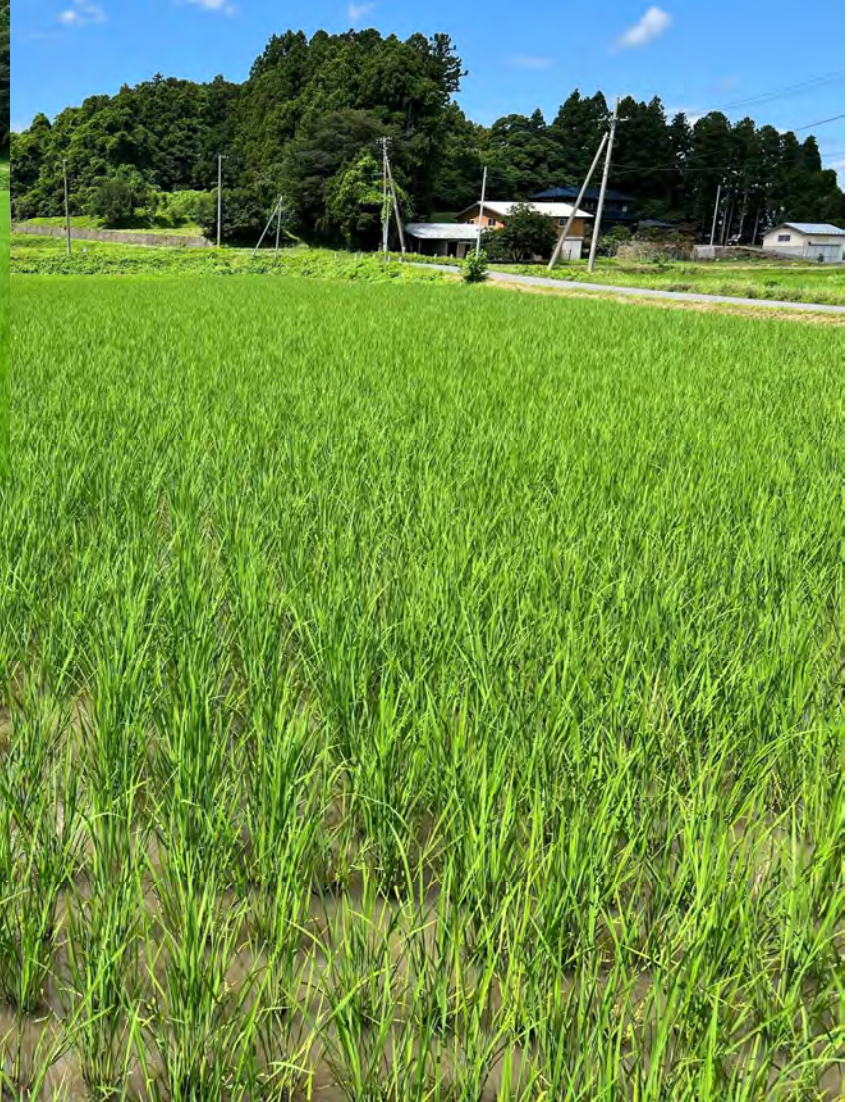
山形県 鶴岡市 F.A.I.N 幼穂形成期

- ✓ 幼穂形成期雑草乾物重量: 2g (ロボ抑草のみ)、収量: 昨年11俵→8.7俵
- ✓ 前年は減農薬だったが、有機にしてもヒエも抑えられてそれなりの収量だった
- ✓ 慣行栽培や減農薬は米の価格が安く資材費も上がっているので、有機へシフトして収益向上を図りたい



宮城県 JAみやぎ登米 幼穂形成期

- ✓ 幼穂形成期雑草乾物重量: 41g (口ホ抑草＋手取り1回)、収量: 昨年8.0俵→7.0俵
- ✓ 2023年はJAみやぎ登米で14台のアイガモロボを導入



JA新みやぎ栗っこ

齋藤さん「昨年より杭が3本多いし、1本の稲束を重ねた高さも高いし、全体的に4～5割くらい増収ではないか。」
「早く全ての圃場にアイガモロボを入れたい。」

✓ 昨年と比較し機械除草回数は変わらないが、杭は25→28本で1割増、稲束の高さは3割増

左右は同一圃場の昨年/今年比較



昨年の圃場



今年のアイガモロボ圃場



JA加美よつば 稲刈り前

✓ ロボ圃場はかなり雑草は少なく実りも良い、近隣の慣行圃場は一部ヒエが目立つ場所もある



有機ロボ圃場



近隣慣行圃場

JAみやぎ登米 稲刈り前

✓ ロボ圃場、合鴨圃場共に雑草も少なく良く実っている



有機ロボ圃場



有機合鴨圃場